

質の高い幼児教育・保育とは！？

—秋の如く、明るき知性を磨く—

《とても綺麗な星が見えた星野村のお泊り保育！》

園長 山崎立哉

長い夏休みも終り 9 月を迎えました。夏休みの期間、ご家族で海や山へ行き自然とふれあい楽しく過ごされたことと思います。

年長児ひばり組さんは、7 月 28～29 日福岡県星野村へお泊り保育にこども園の赤バスに乗って行ってきました。第 1 日目は、途中上陽町にあるふるさとわらべ館に寄り、お昼ご飯のおにぎりを食べ、館内の玩具や遊具で遊び、その後川遊びをしました。川の水は冷たくてとても気持ちよく、子ども達は大はしゃぎで、小さい魚やサワガニ見つけに夢中になっていました。また、川には板で滑り台が設けてあり、水が流れる滑り台を何度も滑って楽しんでいました。川遊びの後は、館内へ戻ってアイスクリーム作りをしました。材料を混ぜ合わせてジップロックに入れ、それを容器に氷と塩と一緒に入れ、20 分間容器を振り続けるとアイスクリームが出来ました。食べると皆「冷たい！おいしい！！」と喜んで食べていました。

その後、星野村の池の山荘へ移動しお風呂に入り、夕食を食べ、夜、星の文化館へ行きました。天体望遠鏡はとても大きくて圧倒され、子ども達も「凄い！大きい！」と感心していました。その天体望遠鏡でこと座のベガ(織姫星)を見ました。望遠鏡を覗くと小さいけれどとても綺麗に輝いていて、子ども達は「凄い！きれい！宝石みたい！」と喜んでいました。天体望遠鏡で星を見た後、今度は広い野原にブルーシートを広げ、皆で寝っ転がって肉眼で星を見ました。家の光など他の光が全くなく暗くて、とても星が綺麗で普段見る星の数よりとても多くの星が見えました。子ども達もとても喜んで「キラキラ光るお空の星よ・・・」と歌い出す子もいて夜空の星を見て楽しんでいました。また、夜の星野村はとても涼しく気持ちがよく、子ども達の中にはスヤスヤと寝てしまう子もいました。

次の日は、池の山キャンプ場の麻生池を散策し、池の中にいる鯉にえさをやりました。最後は思い思いにお泊り保育の思い出を描いたキーホルダーを作り持って帰りました。

このお泊り保育は、ひばり組年長児の皆にとってとても心に残る思い出になったようです。